

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



## 活力ある地域づくりを目指して 令和4年度 霞ヶ浦二橋建設促進に関する要望（陳情）活動

2月10日、谷島市長は県庁を訪問し、大井川知事、田村土木部長、北村政策企画部長、村上県議会副議長（議長代理）に対し、要望（陳情）活動を行いました。

この活動は、石岡市を含む11市町村が、二橋建設を通じた関係地域の発展を目的に行っているもので、顧問である県議会の沼田和利議員、坂本隆司議員、高橋直子議員同席のもと、事業の必要性を説明するとともに、茨城県総合計画に構想路線と示された霞ヶ浦二橋の早期実現を要望しました。



▲大井川知事（左から4番目）に要望書を提出する谷島市長（左から5番目）



▲①瓦会小での発表会の様子 ②質疑応答時間の様子（瓦会小）  
③・④柿岡小での発表会の様子

## ふるさと学習から学びを深める

### 柿岡小×瓦会小

### オンライン交流発表会

柿岡小学校と瓦会小学校の6年生が、ふるさと学習で学んだことをオンラインでお互いに発表し合う交流発表会が行われました。柿岡小の児童は、昨年7月に行われた丸山古墳での学習を生かし、古墳についての発表を行い、瓦会小の児童は瓦塚窯跡での学習から学んだことをもとに、情報を共有しました。質疑応答の時間では、難しい質問にもみんなで協力して答えを探し出し、対応するチームワークを目にすることができました。

## 石岡商工会議所主催

### 中心市街地商店街を巡る 第17回いしおか雛巡り

石岡駅西口の中心市街地商店街にて、第17回いしおか雛巡りが開催されました。

まちかど情報センターでは「千年狐 葛の葉物語」と題し、展示が行われました。安倍晴明の母親の葛の葉伝説をコンセプトに、狐に化けた葛の葉が森に逃げていく様子が描かれた豪華絢爛な展示でした。

まち蔵藍には、大正時代の雛人形や7段飾り、つるし雛が展示されており、市内の幼稚園に通う園児たちが見学に訪れていました。



▲展示の様子 ①まちかど情報センター ②石岡駅西口市民文化伝承館 ③みんなのひろば ④まち蔵藍



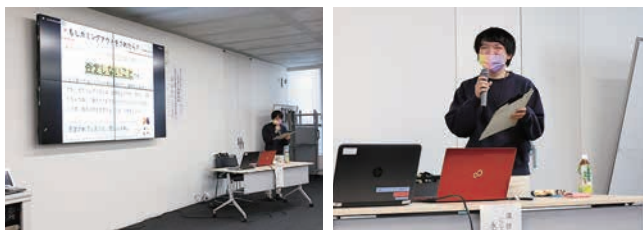
▲オンラインで遠藤先生のお話を聞く園部小学校6年生の児童

## 「救う」の一步をここから始める 親子で国境なき医師団の 「世界といのちの授業」を受講

園部小学校6年生を対象としたこのプログラムでは、イラクや南スーダンで活動に参加した麻酔科医の遠藤<sup>だい</sup>先生から、現地での医療援助についてお話を聞いたのち、実際に医師として活動することを想定してディスカッションを行いました。人道援助におけるジレンマに直面しながら考察を深めた児童たち。参加した児童は「世界には困っている人がたくさんいて、自分たちが医療を受けられることは当然でないことが分かった」と話してくれました。

## 多様な性について考える 石岡市さわやかハーモニー セミナー LGBTQ 講演会開催

石岡市出身・在住であり、LGBTQ 団体にじっぺ茨城代表である永瀬<sup>ながせ</sup>大紀さんによる講演会が開催されました。講演会では～お互いの性を尊重し合える共生社会を目指して～のテーマのもと、性という枠組みを超え、相手のことを理解することが、なによりも重要であることを訴えかけていました。お互いを尊重し合いながら、ありのままの存在を認め合っていける社会に向けて活動する永瀬さんの熱い思いに、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲講演会当日はたくさんの参加者が訪れ、会議室はいっぱいになりました。



▲(写真上) 江戸文字色紙贈呈式(主催: 関川サロン)  
(写真下) 橘吉也さんによる江戸文字体験教室(主催: 青少年を守る石岡市民の会関川支部)

## 文字の力で輝く未来へ! 関川小6年生へ卒業記念 江戸文字色紙贈呈と体験教室

3月2日、関川小学校の6年生へ、江戸文字書家の橘吉也さんが書いた江戸文字色紙が贈呈されました。書かれている漢字は、児童がそれぞれ選んだ好きな字。このような卒業記念は、地域のボランティア活動を行う関川サロンの皆さんが毎年実施をしています。さらに贈呈式の翌週には、橘さんによる江戸文字体験教室が開催。初めは書けるか不安そうな児童たちでしたが、いざ筆を持つと、力強く立派な江戸文字を楽しみながら書きあげました。